## 第一章 自治体とトップスポーツ組織との連携

- 自治体とトップスポーツ組織間において、約半分(48.7%)の自治体がスポーツの活用・連携などを含めたスポーツ 振興計画(ビジョンなど)が「ある」と回答した。
- 自治体とトップスポーツ組織との関りにおいて、具体的な目標について、 【定量目標】は16.2%、【定性目標】は21.3%、が「ある」と回答した。
- トップスポーツ組織の資源(選手・施設・商標など)の活用による地域活性化について、参考としている自治体やチームがあるのは共に約10%程度であった。
  【参考としている自治体】が「ある」:11.2%【参考としているチーム】が「ある」:10.1%
- 貴自治体での「スポーツツーリズム」に関する取り組みについて、 約1/3(34.5%)の自治体が「はい(実施している)」と回答。多かった取り組みは、 【スポーツ大会・イベントの開催】: 23.0%【スポーツ合宿・受け入れ】: 21.0%

## 第二章 自治体から見た、チームの地域活動に関する意識

- トップスポーツ組織が地域で実施する主な地域活動(5項目)について。
- 1. 認知について、【チームが取り組む種目の貴自治体での活用】が最も高く(87.2%)、最も低い【チームが経済的支援を貴自治体から提供してもらうため】も60.6%と、5項目共に高い認知状況にある。
- 2. 【チームが取り組む種目の貴自治体での活用】が、満足度、重視度、期待度共に、 他の地域活動よりも高い傾向を示した。
- トップスポーツ組織が地域で実施する具体的な地域活動(24活動)について。
- 1. 「地元の小学校や中学校への訪問活動」、「地元の祭り・イベントへの出展参加」が、満足度、重視度、期待度共に、他の活動よりも高い傾向となった。
- 2. また、「地元の小学校や中学校への訪問活動」、「地元の祭り・イベントへの出展参加」については、満足度以上に 重視度、期待度が高く、この活動に対する自治体の意識の高さが伺える。

## 第三章 自治体の意識とトップスポーツ組織の特徴・活動との関連性

- 主な地域活動(5項目)に関して、重視度・期待度と満足度との関係について。
- 1. 「チームが取り組む種目の貴自治体での活用」「チームから貴自治体への人的・物的支援」が「高重視×高満足」 「高期待×高満足」に該当した。
- 詳細な地域活動(24項目)に関して、重視度・期待度と満足度との関係について。
- 1. 「地元の小学校や中学校への訪問活動」「県庁、市役所、区役所への訪問」、「いじめ防止等社会啓発活動、キャンペーンへの協力、投票・納税の呼びかけ」、「地元の祭り・イベントへの出展・参加」など多くの項目は『高重視×高満足』『高期待×高満足』となった。
- 2. 『高重視×低満足』『高期待×低満足』となったのは、「(無料)クラブ運営スクール」も「指導者講習会」である。低 満足となった理由として実施回数の可能性が考えられる。
- 3. また、自治体の満足度に関して、独立系と企業系は大学系に比べて高くなっていることがわかった。